

グローバル人材育成推進事業

Project for Promotion of Global Human Resource Development

Type B

山口県立大学(入学定員:328人※) [取組学部・研究科等: 国際文化学部(118人※)] ※編入学定員(3年次)含む

【構想の目的・育成するグローバル人材像】

『元氣な地域は元氣な国の基となり、地域のグローバル化は元氣な地域を作るカギとなる』という考えに基づき、学部の8割の学生を在学中に海外へ派遣し、世界と日本の地域をつなげて課題解決に向かう姿勢と地域の歴史的、文化的、自然的、人間的な資源の価値や可能性に着目し、世界に「売り込める」力を有するInter-local人材を育成する。

【構想の概要】

Inter-local人材の育成を実現するために、国際文化学部の既存のカリキュラムに加え、新たに以下の4つの取組を実施する。

- ①「**域学共創学習プログラム**」の展開: Active Learning Studioを設置し、国内外の地域を巻き込んだ大学導入教育から卒業研究までを一貫とする留学教育を実施する。
- ②「**4技能+α**」総合的外国語運用能力の育成: 高度な「話す・聞く・書く・読む」能力を培うため、語学力管理システムの設置、自己学習環境の整備、言語教育の改善を行う。同時に「異文化コミュニケーション能力」を育成し、総合的外国語運用能力を養う。
- ③ **IPDポイント制度の導入**: 留学につながる体験や能力育成を換算するポイント制度によってInter-local人材が身につける力を明確にするとともに、学習及び留学の動機づけとし、さらに、組織的な留学支援を行うしくみをつくる。
- ④「**域学連携コンソーシアム**」の設立: 留学前後を支えるネットワーク(地域住民、産業界、行政、海外協定校等)を創設する。

■ 教育課程の国際通用性の向上

○教育課程の国際通用性の向上のための取組

英語で開講される科目を中心に海外学術交流協定大学と連携して成績評価方法を改善し、各履修モデルのカリキュラムマップを示し、ナンバリングを行う。「域学共創学習プログラム」で、学生の主体的な学びを促進する。

○戦略的な国内外への教育情報の発信

「域学共創学習プログラム」において制作する国内外の諸地域に関する資料や報告を、他者が使用できる学習教材としてアーカイブ化し、Web上に多言語(日本語、英語、中国語、韓国語、スペイン語)で発信する。

○事務体制のグローバル化

海外学術交流協定大学への派遣を継続発展させるとともに、事務職員向けの英語研修プログラムの充実を図る。

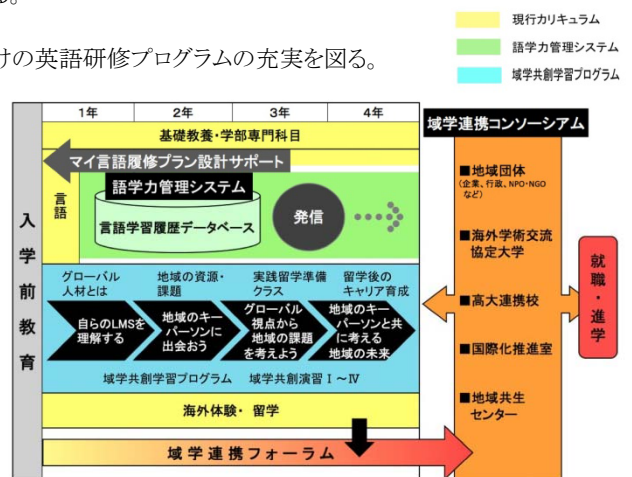
■ グローバル人材として求められる能力の育成

○「域学共創学習プログラム」の新設

現行のICT教育を活用した教育を発展させ、Active Learning Studioを開設して、地域課題を学習テーマにしながら学生主導の自主的な学びを促進しつつ、留学準備から事後サポートまでの一貫した留学教育を実現する。

○域学連携コンソーシアム

産業界、行政、その他の団体のキーパーソンを講師として招聘したり、学外で学ぶほか、卒業後に留学経験を活かせる道を切り拓くネットワークを形成し、Inter-local人材育成のための人的・経済的支援の場を設ける。



■ 語学力を向上させるための入学時から卒業時までの一体的な取組

○入試における中等教育段階までの外国語力・留学経験等の適切な評価

国際文化学部の入試面接時において、語学検定スコア及び留学経験等をヒアリングし、一定以上の水準にある場合は、これを面接点として組み入れる。また、入学後には、IPDポイントに換算し、留学選考や奨学金獲得につながる点数として加算する。

○効果的な語学教育及び教育体制

語学力管理システムの導入により、学生自らが選択した外国語に関する学習目標や到達度、達成度などを可視化し、自ら目標を管理し、学習を進めることができるようにする。

■ 教員のグローバル教育力の向上

○教育体制のグローバル化

従来の短期教員交流に加え、平成25年度より海外学術交流協定大学と連携し、毎年1名の長期派遣・受入れを行い、海外における教育方法の経験、英語で授業を実施するための語学スキルの向上につなげる。

○グローバル教育力向上のための取組

教員評価において国際的な教育研究に携わった事項が反映されるように項目を整えるとともに、国際誌掲載・国際学会発表については、本学の「研究創作活動助成」における評価の加算等により引き続き奨励を行う。

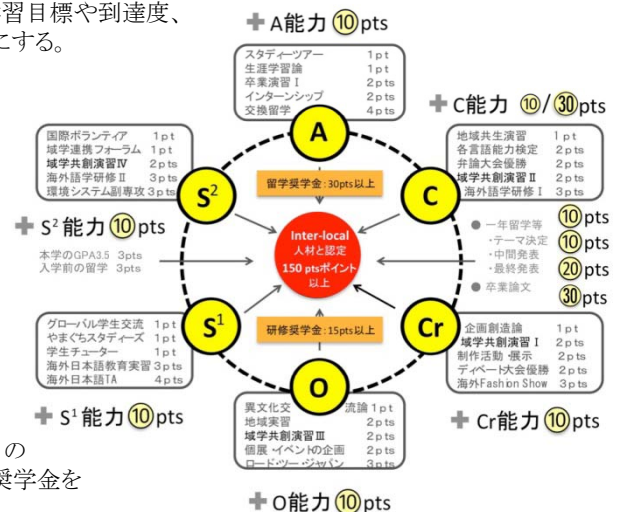
■ 日本人学生の留学を促進するための環境整備

○動機付けや留学を促進するための取組

入学前の国際交流経験、入学後の語学検定結果、英語で開講される科目の履修などをIPDポイントとして累積し、一定の点数を貯めたものには、留学奨学金を付与するしくみを構築し、留学の動機づけや留学者の増加につなげる。

○留学中から帰国後にわたるサポート体制

留学アドバイザーを配置し、キャリアサポートセンターと連携を図りながら、留学経験者に有利な就職支援、アジア地域で拡大している邦人企業の海外採用にも対応できるよう体制を整備する。



卒業・修了時に学生が修得すべき具体的能力

Inter-local人材の
「姿勢」と「力」を支える
「ACCROSS」能力

世界の地域

日本の地域

A	Alternative perspectives and all encompassing vision 既成の常識という概念とは異なる視点からものをみる能力、個人を超えた未来観
C	Communication, collaboration and community mindedness 「4技能+α」総合的外国語運用能力、ICT活用力、連携・協働する力、地域に根ざした行動力
Cr	Critical reflection and creative thinking 批判的に振り返ることのできる力、想像力・創造力
O	Open-mindedness and objective-based action オープンマインド、目的に基づいた実行力
S ¹	Self-identity and self initiative 日本人としてのアイデンティティ、自発的に学び、課題に取り組む力
S ²	Systems thinking leading to sustainable solutions 複雑な状況下で変化に最も影響を与える構造を見極め、さまざまな要因のつながりと相互作用を理解し、持続可能な解決策を提案する力

「ACCROSS」とは、国・文化・世代・地域間のボーダーを超えるという意味。

本構想において実現する達成目標

全学		2011	2012	2013	2014	2015	2016
外国語力スタンダードを満たす学生数				28人	36人	44人	50人
うち海外留学未経験者数 (A)				2人	5人	8人	10人
海外留学経験者数 (B)		49人	60人	71人	80人	89人	95人
卒業[予定]者数 (C)		118人	118人	118人	118人	118人	118人
比率 ((A+B)/C)				61.9%	72.0%	82.2%	89.0%
国際文化学部(国際文化学科)	卒業時の外国語力スタンダード	TOEIC700点、中国語検定試験2級、ハングル能力検定試験準2級、スペイン語技能検定試験3級のいずれか		22人(0)	25人(0)	28人(0)	30人(0)
	海外留学経験者数	44人	50人	56人	59人	62人	64人
	3カ月未満	26人	30人	34人	34人	34人	34人
	3カ月～1年	18人	20人	22人	25人	28人	30人
	1年超	0人	0人	0人	0人	0人	0人
卒業[予定]者数		64人	64人	64人	64人	64人	64人
国際文化学部(文化創造学科)	卒業時の外国語力スタンダード	TOEIC550点、スペイン語技能検定試験3級のいずれか		6人(2)	11人(5)	16人(8)	20人(10)
	海外留学経験者数	5人	10人	15人	21人	27人	31人
	3カ月未満	3人	7人	11人	15人	19人	21人
	3カ月～1年	2人	3人	4人	6人	8人	10人
	1年超	0人	0人	0人	0人	0人	0人
卒業[予定]者数		54人	54人	54人	54人	54人	54人

※1)「外国語力スタンダードを満たす学生数」の学部ごとの記入欄の()内は、外国語力スタンダードを満たす学生数のうち「単位取得を伴う海外留学未経験」の学生数を示す。

※2)上記の「海外留学経験者数」は、いずれも単位取得を伴う海外留学経験者数であり、単位取得を伴わない海外留学経験者は含まない。